

公開講座

「世界文学の最前線—流通・翻訳をめぐる」
シリーズ第三期 第一回

ゴーリキーと 世界文学 出版所

2019

9/29 日

14:30 ▶ 16:00
(開場:14時00分)

日本大学通信教育部
1号館

※入場無料・予約不要

講師

秋草俊一郎

日本大学大学院
総合社会情報研究科 准教授

講演内容

ロシアの作家、マクシム・ゴーリキーは『母』『どん底』などといった作品で世界的な文豪としていまも読まれています。そのゴーリキーは、1917年にボリシェヴィキが10月革命をおこして政権を奪取すると、職を失った文学者たちを集め、レーニンの協力のもと「世界文学出版所」をたちあげました。そして1919年、長大な「世界文学出版所カタログ」を刊行します。それはソ連版『世界文学全集』の青写真とも言うべきものでした。今回の講座では、日本をふくめ全世界をおさめた「カタログ」の内容とその狙いを紹介します。

講師プロフィール

あきくさ・しゅんいちろう

日本大学大学院総合社会情報研究科 准教授。博士(文学)。

専門は比較文学、翻訳研究など。2011年、『ナボコフ 訳すのは「私」——自己翻訳がひらくテキスト』(東京大学出版会)で日本比較文学会賞、日本ロシア文学会賞。同書の元となった研究論文で、2008年度東京大学総長大賞。著書に『アメリカのナボコフ——塗りがえられた自画像』、訳書にフランコ・モレッティ『速読——〈世界文学システム〉への挑戦』(共訳)、ウラジーミル・ナボコフ『ナボコフの塊——エッセイ集1921-1975』などがある。

▶メールアドレス: adm.gssc-tokubetsukoen@nihon-u.ac.jp

主催



日本大学大学院
総合社会情報研究科



会場
アクセス

日本大学通信教育部1号館：東京都千代田区九段南4-8-28

●JR・地下鉄：市ヶ谷駅より徒歩3分

問合せ：TEL 03-5275-8890 (通信教育部研究事務課)



※参加者多数の場合は、千代田区に在住の方が優先になります。